

豊橋ちぎり寮 小さな窓

令和2年6月号 豊橋ちぎり寮 豊橋市高師町字北原 1-107 TEL 0532-61-0117

「ご協力ありがとうございました」

新型コロナウイルスの感染者数が減少し、少しずついつもの生活が戻ってきました。マスクの着用や3密を意識した新しい生活も、いつの間にか当たり前になっていくように思います。今年は夜店やいろいろな祭りなどが中止になり、利用者さんから「楽しいことはみんな中止になっちゃった・・・」などのさみしい声が聞こえてきます。今の状況の中で楽しむことができるように、日々の活動を工夫しながら、本寮でも「新たな生活」の中で利用者さんが楽しく過ごすことができるようにしていきたいとします。

約3ヵ月のステイホーム期間には、マスクなどの生活にかかせない日用品が購入できず、また先が見えないことに不安になる日がありました。そんな時、手に入らないマスクを寄付してくださった地域の方々、帰省や外出の自粛で家族に会えない日々を我慢してくれた利用者さんや家族の方々、短期や日中一時利用のみなさんなど本当にいろいろな方にご協力をいただきました。あらためて、人とのつながりの温かさ、協力することの大切さ、普通に暮らせることが幸せであることを実感しました。

ご協力いただいたすべてのみなさんに感謝し、これからも職員一同、気を引き締めて利用者さんの健康を守っていききたいとします。

副寮長 福島美知子



動物園に行ってきました！



寮内清掃のため、6月9日にのんほいパークに行ってきました。久しぶりの外出で、利用者さんは前日から楽しみにしていました。日差しが強く、暑い日でしたが、動物やお花を見たり、売店で団子やアイスを食べたりして楽しみました。





駄菓子喫茶



5月14日に駄菓子喫茶を行いました。
魚釣りゲームを行い、お菓子と飲み物をもらいました。
ゲームを楽しみ、いつもとは違うおやつの時間を過ごしました。



おやつ作り

外出自粛中、利用者さんに何がやりたいかの希望を聞きました。
おやつ作りがしたいという意見があり、5月にフルーチェのパフェを作りました。
クッキーを細かく砕いたり、フルーチェをかき混ぜたり、トッピングをしたり、皆さんで協力しておやつ作りを楽しみました。



習字クラブ・美術クラブ



月に1回、習字クラブ、美術クラブを行っています。

習字クラブでは、季節に合った言葉を書いています。今回は「かさ」や「父の日」を書きました。美術クラブでは、好きな絵を描いたり、工作をしたりしています。5月のクラブでは紙で紫陽花を作りました。皆さん楽しんで取り組んでいます。



余暇の過ごし方



女性利用者さんの生活を一部紹介します。女性棟1階で生活をされている皆様の余暇の過ごし方は一人ひとりに合った過ごし方を提供しています。ブロックやビーズで遊ぶ方、絵を描いたり、塗り絵を楽しむ方、寮内散歩やモップ掛けをして体を動かす方など、自分のやりたいことに取り組み、充実した時間を過ごしています。



地域移行(グループホーム)について

「普通の暮らし」

本寮がバックアップ施設となり、グループホームが開設されてすでに19年。

本寮からも今までに22名の利用者の方が利用されています。

今年の4月には2つのホームが新設され、総勢52名の方が地域で暮らしています。

食事の手伝いや買物、ヘルパーとのお出かけなど、何気ない日々ですが、

入居者の方々はとても楽しそうに生活しています。

たった一度しかない人生、『普通の暮らし』を自分の手でつかめるよう、目指せ！地域生活！



ありがとうございました。

〈寄贈〉 伊藤角栄様
株式会社有楽製菓